

衆議院外務委員会ニュース

平成 22.4.7 第 174 回国会第 10 号

4 月 7 日（水）第 10 回の委員会が開かれました。

1 国際情勢に関する件

- ・岡田外務大臣、加藤法務副大臣、武正外務副大臣、長島防衛大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

浜本 宏君（民主）

- ・米国が 4 月 6 日に発表した「核態勢の見直し」(NPR) を岡田外務大臣はどのように受け止めているのか。
- ・ソマリア・アデン湾に海上自衛隊が派遣されて以降、我が国船舶が海上自衛隊の護衛なしにアデン湾を通過した割合はどのようになっているか。
- ・環境保護団体「シー・シェパード」による我が国調査捕鯨船への妨害行為について、主権国たる我が国としては「海賊行為」であると主張すべきではないか。

服部 良一君（社民）

- ・普天間飛行場移設について米側は、移設先になる地元の理解が必要であると言っているのか。
- ・衆議院外務委員会が 3 月 31 日に沖縄を訪問した際、仲井眞沖縄県知事や島袋うま市長らが述べた意見が「沖縄の声」なのではないか。
- ・いわゆる「密約」問題に関する有識者委員会の沖縄返還時の核再持込の調査結果を外務省として精査すべきではないか。

平沢 勝栄君（自民）

- ・中国で日本人に対する死刑が本年 4 月上旬に集中して執行されることに関し、岡田外務大臣の所見を伺いたい。
- ・岡田外務大臣が程永華駐日中国大使に対し、死刑執行についての懸念を伝えた際、同大使はどのような応答をしたのか。
- ・衆議院外務委員会が 3 月 31 日に沖縄県を訪問した際、仲井眞沖縄県知事や島袋うま市長らが、我が国政府から普天間飛行場移設案についてきちんとした説明を受けていないと述べたことに対する岡田外務大臣の所見を伺いたい。

小野寺 五典君（自民）

- ・在日米軍の再編計画の具体案を示した「再編実施のため

の日米のロードマップ」(以下、「ロードマップ」)の内容に変更が生じた場合、「在沖縄海兵隊のグアム移転に係る協定」を見直す必要があるのではないか。

- ・「ロードマップ」に記載されている 2014 年までの普天間飛行場の移設は実現可能なのか。
- ・韓国が竹島を地質分野の世界遺産といわれる「ジオパーク」としてユネスコに登録する旨の報道に対する岡田外務大臣の見解を伺いたい。

赤松 正雄君（公明）

- ・普天間飛行場移設問題における対米交渉で岡田外務大臣はどのような交渉を行ってきたのか。
- ・普天間飛行場移設問題のみならず日米地位協定改定の取組を行う方針を沖縄県民に対し伝える努力をすべきではないか。
- ・琉球王国が我が国の沖縄県となった歴史的な経緯等、沖縄の特有な歴史認識についての岡田外務大臣の所感を伺いたい。

笠井 亮君（共産）

- ・いわゆる「密約」問題で、1960 年 1 月の藤山外務大臣(当時)とマッカーサー駐日米国大使(当時)の討議記録は、日米両国政府の共通の理解を記録したものとされているが、共通の理解とは何か。
- ・いわゆる「密約」問題に関わる日米交渉時の文書について、マッカーサー駐日米国大使(当時)が送った電報の内容が事実ではないとする根拠は発見されているのか。
- ・米国が 4 月 6 日に発表した「核態勢の見直し」(NPR)により、米軍が我が国に核の持ち込みを行わないことが保証されるのか。

2 所得に対する租税に関する二重課税の回避及び脱税の防止のための日本国政府とシンガポール共和国政府との間の協定を改正する議定書の締結について承認を求めるの件（条約第5号）

所得に対する租税に関する二重課税の回避及び脱税の防止のための日本国政府とマレーシア政府との間の協定を改正する議定書の締結について承認を求めるの件（条約第6号）

所得に対する租税に関する二重課税の回避のための日本国とベルギー王国との間の条約を改正する議定書の締結について承認を求めるの件（条約第7号）

所得に対する租税及びある種の他の租税に関する二重課税の回避及び脱税の防止のための日本国とルクセンブルグ大公国との間の条約を改正する議定書の締結について承認を求めるの件（条約第8号）

・岡田外務大臣からそれぞれ提案理由の説明を聴取しました。